

令和8年度 ミッションおよび経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市民文化振興財団
------------	------------------

■ 観点① 公益貢献

ミッション①		
幅広い市民が多様な文化芸術に触れることのできる機会を創出する		
経営改革プラン①		
①	公益貢献の取組	年齢や障がいの有無等、様々な環境や境遇に関わらず、市民が実演芸術の公演を鑑賞できる機会を創出する。
	期待される効果	芸術文化をコミュニケーションツールとする、幅広い市民への振興を通じて、地域社会をつなぎ、豊かにする。
	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホール・文化センター・新開地アートひろばの公演事業において、年1回以上の社会包摂型の自主事業を実施する。 ・小学生を対象としたインリーチ・アウトリーチ事業を、小学校期間中に1回以上体験させる。
②	公益貢献の取組	各文化センターで展開する多様な講座開設を促進し、市民の文化活動の「学ぶ」「トライする」を支える。
	期待される効果	市民の文化活動を「学ぶ」→「深める」→「発表する」→「鑑賞する」→「学ぶ」と循環発展を促進する。
	具体的目標・指標	文化センター講座参加者数を令和3年度比20%増加させる。

■ 観点② 経営改善

ミッション①

組織全体の企画力・経営力の強化による収益構造の改善

経営改革プラン①

①	経営改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ホール、新開地アートひろば、文化センターの指定管理者として、創造発信事業などの財団の専門性の発揮や企画制作力の向上、専門人材育成等を進めることにより、「個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与するサービスの更なる向上」をはかる。 ・指定管理料・利用料金等が見直される新・神戸文化ホール及び文化センターの次期指定管理者への選定を目指す。
	具体的目標・指標	・新・神戸文化ホール、文化センター次期指定管理の受託
②	経営改善策	収益事業の強化をはかるとともに、継続的な助成金・寄付金等の外部資金獲得環境の構築を促進し、公益事業の更なる質の向上に努める。
	具体的目標・指標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター講座参加者数を令和3年度比20%増加させる。（再掲） ・助成金・寄付金の新規獲得1件以上
③	経営改善策	バックオフィス業務等の合理化を進め、神戸の芸術文化振興に係る新たな課題や施策に対応するための、人的、財政的リソースを創出を進める。
	具体的目標・指標	システム更新等を契機とした会計業務等の業務標準化・効率化方針の策定（他外郭団体との連携も検討）

ミッション②

市民還元、費用対効果、民間代替性の視点を踏まえた事業の抜本的見直し

経営改革プラン②

①	経営改善策	神戸市室内管弦楽団について、市民還元、費用対効果、民間代替性の視点を踏まえ、あり方を踏まえた運営見直しを検討する。
	具体的目標・指標	5・6月に開催される定期演奏会等の状況を踏まえ、理事会にて審議を行い、今後の方向性を決定する。